

## 編集後記

元号が令和に変わりました。今回皆さまにお届けする『浜太極』は令和時代の第1号です。

\*

昭和35(1960)年に楊名時師家が創拳して以来、平成11(1999)年のNPO法人化を経て、今日に至る私たちの楊名時八段錦・太極拳。今年、令和元年は、そのNPO法人日本健康太極拳協会設立20周年を迎えた節目の年です。

さらに来年は創拳60周年、その2年後には私たち神奈川県支部の設立20周年、そしてその数年後に師家生誕百周年が控え、創拳以来3つ目の元号を迎えた今、記念すべき周年事業が目白押しです。

楊名時八段錦・太極拳は、令和の時代になってもますます意気盛んというところでしょうか。

\*

ところで我が家の茶の間では、明るい改元ムードに世間がにぎわう10連休中、「平成時代の特徴と思えることを各人5つ挙げてみよう」という話になりました。

やってみると5つのうち、昭和半ば生まれの我々夫婦も、平成生まれの子供たちも、全員に共通する内容が4つありました。

ひとつは「少子高齢化が進んだ時代」、そして「テロが多かった時代」、「格差が広がった時代」、さらに「(日本に)戦争がなかった時代」です。

特にその中でも、最後の「戦争がなかった時代」については、思えば平成は、近代以降の元号の中で唯一それが当てはまる時代でした。

改元早々にバブルが弾け、その後ずっと経済的には低迷期が続き、そんな中で未曾有の天災・人災が度重なるという、暗さをともなう時代でもありましたが、少なくとも「戦争がなかった」というその一点においては、誇るべき30年間に私たち日本人は生きてきたと言ってもいいのではないのでしょうか。

\*

と、そんな会話を親子で交わしているうちに、ふと、あることに気づきました。

この4つの平成時代の特徴は、楊名時師家が最も大切にしていた私たち共通のスローガン、「健康・友好・平和」と通底しているのではないかと、ということでした。

少子高齢化の時代だからこそ、私たちは「健康」を必要としています。人口が減少し、介護保険の適用が厳しくなる中で、私たちは少しでも自己努力で健康寿命を伸ばしていきたいものです。

また、テロも格差も、その根源には他者への不寛容があります。私たちはその呪縛を解いて、「友好」を築いていく必要があります。

そして、平成の時代に守り続けた「平和」。これからもそれを失わないようにと願い、いや、願うばかりではなく、そのために不断の努力を続けていかなければならないでしょう。

\*

そうは言っても、少子高齢化はこれからも避けがたく進行する現実です。また、令和が幕を開けても相変わらず世界中で紛争が絶えず、難民が右往左往させられ、大国同士が自国の利益だけを求めて貿易戦争に明け暮れている有様です。

この先、令和がどんな時代になるのかわかりませんが、こうしてみると、「健康・友好・平和」という楊名時八段錦・太極拳が最も尊ぶ言葉は、いまだに、いや、いまこそ、社会に対して有効なスローガンと言えるのではないのでしょうか。

(結城 記)

投稿先は以下の通りです。

●メール k.hiroko@aurora.ocn.ne.jp

●郵 送 〒252-0239 相模原市中央区由野台2-7-3

●FAX 042-758-9838

※宛名はすべて「『浜太極』編集部 久保田博子」  
をお願いします。

神奈川県支部ホームページ : <http://www.taiji-kana.sakura.ne.jp>